

取組 1 5 キャリア教育と進路指導の充実

現状

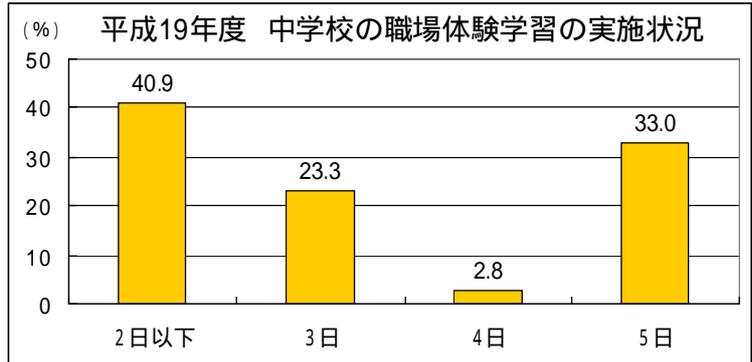
産業・経済の構造的変化や雇用の多様化・流動化等が進む中、生徒の進路（進学・就職）をめぐる環境は大きく変化しています。

また、精神的・社会的自立が遅れる傾向や目的意識が希薄なまま、進学・就職する者が増加していることなどが指摘されています。

このような中、児童生徒が変化の激しい社会に対応し、社会人・職業人として自立していくことができるよう、発達段階に応じた勤労観・職業観を育てるキャリア教育が重要になっています。

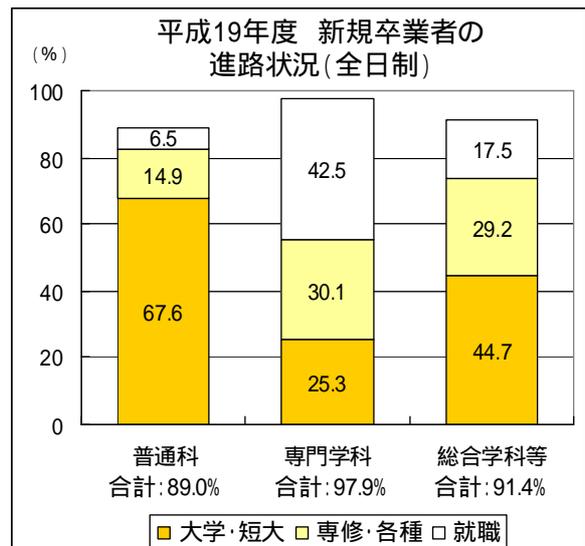
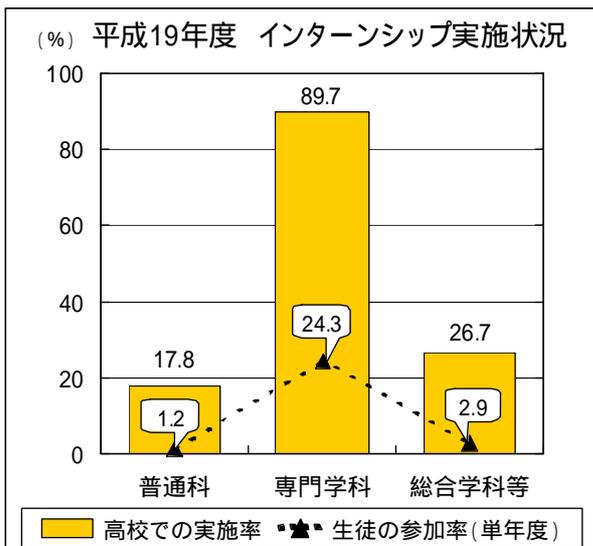
（小中学校）

- ・小学校では、学級活動や総合的な学習の時間等において、「大きくなったら何になりたいか」や「将来どのような道にすすみたいか」など、将来の生き方や職業への夢や希望をふくらませていくための学習活動を行っています。
- ・中学校では、職場体験学習を中心に生徒の自己理解や職業理解を促し、「夢や希望を生徒自身がどのように達成するのか」等、肯定的に実現可能性を考える学習活動を行っています。



（公立高校）

- ・学校から社会への移行を生徒自身が現実的問題として考え、計画的に夢や希望の具体的実現が図れるよう、インターンシップや大学等の訪問見学など、体験的活動を中心に生徒の社会的自立・職業的自立に向けた学習活動を推進しています。
- ・生徒一人ひとりの能力・適性・興味・関心等に対応した進路相談や進路情報の提供を行い、進学や就職等、進路希望が達成できるよう、きめ細やかな進路指導を行っています。



## 課題

(小中学校)

- ・小中学校が連携し、児童生徒の夢や希望（進路希望）を一貫して育成すること

(公立高校)

- ・卒業時だけでなく、卒業後の離職傾向等を踏まえた進路指導等を行うこと
- ・地域の企業等と連携し、体験学習（職場体験、インターンシップ）等を推進すること

## 取組の方向

- ・キャリア教育実践校の組織的・計画的取組事例の紹介や学習プログラムの提供などにより、各学校の取組を支援します。

(小中学校)

- ・一人ひとりの児童生徒の進路希望（夢や希望）を把握し、勤労観・職業観を養います。

(公立高校)

- ・進学者及び就職者の動向を調査・分析し、キャリア教育及び進路指導の改善を行い、進路のミスマッチを減らします。
- ・インターンシップの参加率向上を図るため、単位認定（学校外の学修による単位認定）を推進します。

## 主な事業の概要

事業の概要	担当部署
・ぐんまキャリアスタートウィーク 取組事例の紹介や学習プログラムの提供などにより、中学校での5日間以上の職場体験学習の取組を支援します。	義務教育課
・キャリア教育研修会 教員を対象とした外部講師による講演、事例発表、ワークショップなどの研修を行い、教員の指導力の向上を図ります。	義務教育課
・保育所・幼稚園・小学校・中学校間連携事業 一人ひとりの子どもの学習・活動履歴の継続的な記録を活用した指導の実践的研究を行う。	義務教育課
・夢実現・進路プラン 高校でのキャリア教育を組織的・体系的に行うため、キャリア教育担当教員の情報交換や生徒の卒業後の進路調査・分析などを行う。	高校教育課
・ぐんまトライワーク推進（高校生長期インターンシップ） 2週間程度の長期就業体験を実施し、生徒の専門分野に対する実践的な知識・技術の体得や、望ましい職業観や勤労観を育成します。	高校教育課

## 達成目標

	基準年度の状況 (H20)	目標年度の状況 (H25)
・将来の夢や目標を持っていますか（小中学校）	(小6) 86.3% (中3) 73.6%	(小6) 90% (中3) 80%
・進路希望達成率（公立高校の新規卒業者）	(H19) 90.8%	92%
・インターンシップの生徒の参加率（公立高校(全日制、専門学科)）	(H19) 24.3%	30%